

令和2年度用「中学社会 歴史」2年 年間指導計画作成資料（案）

令和2年6月版

取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- 単元ごとの配当時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準、及び評価基準については、弊社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

教育出版

歴史的分野 指導計画表 (第2学年)

※歴史での時数35時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動3時間
(第2学年の社会科全体の時数105時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動21時間)

※第2学年の総配当時数105時間に対し、教科書では地理的分野・歴史的分野を合わせて「本時」を94時間(地理:59時間, 歴史:35時間)で設定し、残りの11時間を予備として、特設ページなどを弾力的に取り扱っていただくように構成しています。
本資料では、歴史的分野(第2学年)について、「学習のまとめと表現」3時間分を、学校の授業以外の場で行うことで、今年度のカリキュラムを32時間の授業時数で作成できるように提示しています。

第4章 近世の日本と世界

(配当18時間, うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動2時間)

4節 経済の成長と幕政の改革 (配当5時間)

累計時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
46	⑫将軍のおひざもと、天下の台所 (p.114~115) ・新田開発と農業 ・産業と流通の発達 ・にぎわう都市	○新田開発や農林水産業が盛んになった背景には、生活の向上を願う人々の工夫や努力があったことに気づく。 ○商品の流通の拡大や、街道・航路などの交通の発達にともなって、江戸・大阪・京都を中心に各地で都市がにぎわい、有力な商人も現れたことを理解する。	
—	◆郷土の歴史を探ろう 地域の街道や港を訪ねて (p.116~117)	○地域を通る街道や港について様々な視点や方法で調べる活動を通して、地域の歴史への関心を広げ、学び方を身に付ける。 ○江戸時代の交通と各地の結びつきについて、箱根関所や北前船などを例に理解を深める。	●「身近な地域の歴史を調べる活動」については、便宜上第3学年の最初に位置づけているが、地域や学校の事情、活動内容等に応じ、適宜時期を組み替えて学習することができる。 ※なお、この内容を第2学年までに学習している場合には、第3学年での取り扱いは不要。
47	⑬花開く町人文化 (p.118~119) ・元禄文化 ・民衆の暮らし	○都市の発展を背景に、町人を担い手とする元禄文化が、上方を中心に生まれたことを理解する。 ○民衆の衣食住の変化や年中行事などの暮らしぶりをとらえ、現代の暮らしにもつながる部分が多いことに気づく。	
48	⑭連判状にまとまる人々 (p.120~121) ・綱吉と白石の政治 ・貨幣経済の広まり ・百姓一揆と打ちこわし	○徳川綱吉は儒学を重んじる政治を進めたものの、幕府の財政は悪化し、新井白石が財政の立て直しに取り組んだことを理解する。 ○人々が百姓一揆や打ちこわしを起こすようになった背景・原因には、貨幣経済の広まりによる貧富の差の拡大や、年貢・税の負担増などがあったことに気づく。	
49	⑮繰り返される政治改革 (p.122~123) ・享保の改革と田沼の政治 ・寛政の改革	○幕府による享保の改革、田沼の政治、寛政の改革を比べ、それぞれの改革の目的や手段、結果について理解する。 ○幕府政治の改革が成功せず、繰り返し行われた理由について、幕府の財政難や人々の生活苦、社会の変化などとの関わりから考える。	
50	⑯「読み・書き・そろばん」の習い (p.124~125) ・新しい学問と思想 ・化政文化 ・地方の文化と教育	○幕府や藩が朱子学を奨励した理由、新たに生まれた国学・蘭学などの学問がもたらした影響について考える。 ○化政文化が江戸の町人を中心に栄えた一方で、各地に寺子屋や藩校が開かれ、地方にも文化が広がったことを理解する。	
—	◆人物から歴史を探ろう リサイクル都市・江戸の町人 (p.126~127)	○江戸の町のにぎわいや、町人たちの暮らしの様子に関心を広げ、資源を有効に利用していた人々の知恵について理解を深める。	
51 52	★学習のまとめと表現 (p.128~131)	○近世の時代の移り変わりを振り返り、どのような時代であったかを言葉や作品に表現して、時代の特色をとらえる。 ○近世から「近代の幕開け」へ時代がどのように変化していったのか、外国との関係に着目して関心をもつ。	●p.128~129では第4章の学習を振り返り、近世の時代の移り変わりや、歴史的事象が起こった地域の確認、政治や社会の動きについての整理に取り組む。 ●p.130~131では「近世の時代の特色を考えよう!」に取り組む、時代の特色を考察して自分の言葉で表現し、まとめる。また、「時代の変化に注目しよう!」に取り組む、資料から「近代の幕開け」(第5章)の様子について予想を立てる。 【1時間】 ※教師用指導書に収録されている「ワークシート」を活用することも考えられる。

第5章 近代の幕開け

(配当11時間, うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動2時間)

1節 近代世界の確立とアジア(配当5時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
53	①王は君臨すれども統治せず (p.132~133) ・絶対王政の成立 ・イギリス革命 ・フランスの絶対王政	○16~17世紀のイギリスやフランスでは, 絶対王政が成立し, 国王による専制政治が行われたことを理解する。 ○イギリスで革命があい次いで起こり, 立憲君主制による議会政治が成立したことを理解するとともに, フランスで啓蒙思想の広まりがもたらした影響に気づく。	
54	②代表なくして課税なし (p.134~135) ・アメリカの植民地 ・アメリカ合衆国の成立 ・フランス革命	○アメリカの独立戦争の経緯や独立宣言から, 植民地の人々がイギリス本国に対して求めた権利について考える。 ○フランス革命がそれまでの身分社会を否定し, 自由で平等な社会への道を開いたことを理解し, 国民議会による人権宣言の意義に気づく。	
55	③「世界の工場」の光とかげ (p.136~137) ・イギリスの産業革命 ・産業革命の広がり ・資本主義と社会主義 ・参政権の拡大	○イギリスで機械と蒸気機関を利用した工業化が進み, 世界で最初に産業革命が起こったことや, その広がりの中で資本主義社会が成立したことを理解する。 ○社会主義の実現や参政権の拡大を求める動きの背景には, 資本主義社会のもとの労働問題や社会問題の発生があったことに気づく。	
56	④強大な国家を旨ざして (p.138~139) ・アメリカ合衆国の発展 ・ロシア帝国の改革 ・イタリアとドイツの統一 ・近代化と列強の成立	○アメリカが西部の開拓や南北戦争を経て発展していった過程を理解するとともに, 西部の開拓によって先住民が土地を追われたことに気づく。 ○社会の改革や国家の統一による近代化によって, 欧米諸国が勢力を強め, 列強とよばれるようになったことを理解する。	
57	⑤国をゆるがす綿とアヘン (p.140~141) ・インド大反乱 ・アヘン戦争 ・太平天国の運動 ・東南アジアの植民地化	○産業革命の進展にともない, イギリスをはじめとするヨーロッパ諸国が, 工業原料や新たな市場を求めてアジアに進出し, 植民地化を進めたことを理解する。 ○インド大反乱や, 中国で起こったアヘン戦争・太平天国の運動の背景や要因について考えるとともに, こうした抵抗が独立運動や革命の動きにつながっていったことに気づく。	

2節 開国と幕府政治の終わり(配当4時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
58	⑥内と外の危機 (p.142～143) ・外国船の接近 ・変動する社会と民衆の闘い ・天保の改革と藩政改革	○日本に外国船が接近するようになった背景を振り返り、こうした動きに対して、幕府が北方の調査や海防の強化、外国船打払令を命じたことを理解する。 ○社会の変動のなかで内外に危機が生じたことを理解するとともに、天保の改革はこれらに対応できず、幕府政治が行き詰まったことに気づく。	
59	⑦たった四はいで夜も眠れず (p.144～145) ・ペリーの来航 ・日本の開国 ・不平等な通商条約	○幕府が対外政策を転換し、ペリーの来航により開国した経緯を、当時のアジア情勢と関わらせて理解する。 ○日米修好通商条約の締結後に日本が抱えた問題について、外国との関係や、幕府と大名との関係から考える。	
60	⑧新たな政権をめぐって (p.146～147) ・開国の影響 ・安政の大獄 ・攘夷運動の高まり ・倒木への動き	○開国後、物価の上昇や外交に対する幕府への批判が高まったことや、幕府はこれを弾圧で抑え込もうとしたことを理解する。 ○攘夷運動の高まりが倒幕へと動き、薩長同盟が結ばれた理由について、長州藩・薩摩藩と欧米の勢力との関わりから考える。	
61	⑨御政事売り切れ申し候 (p.148～149) ・社会不安の広がり ・世直しへの願い ・大政奉還と新政府の誕生	○社会不安が広がるなかで、民衆による一揆や打ちこわしなどの世直しの動きが高まり、幕府の権威を弱めたことを理解する。 ○徳川慶喜が大政奉還を行ったねらいと、倒幕勢力が王政復古を宣言して新政府をつくったねらいに気づく。	
—	◆人物から歴史を探ろう 坂本龍馬と横井小楠 (p.150) ◆地域から歴史を探ろう 改革や平等を求めて (p.151)	○薩長同盟を仲立ちした坂本龍馬に関心を広げ、龍馬が目ざした新しい日本の政治構想や、横井小楠との関係について理解を深める。 ○幕府政治がゆらぐなか、税の負担や身分の差別を強める藩の動きに対し、人々が改革や平等を求めて起こした一揆について理解を深める。	
62 63	★学習のまとめと表現 (p.152～155)	○「近代の幕開け」の時代の移り変わりを振り返り、どのような時代であったかを言葉や作品に表現して、時代の特色をとらえる。 ○「近代の幕開け」から近代へ時代がどのように変化していったのか、産業技術の違いに着目して関心をもつ。	●p.152～153では第5章の学習を振り返り、「近代の幕開け」の時代の移り変わりや、歴史的な事象が起こった地域の確認、政治や社会の動きについての整理に取り組む。 ●p.154～155では「『近代の幕開け』の時代の特色を考えよう!」に取り組み、時代の特色を考察して自分の言葉で表現し、まとめる。また、「時代の変化に注目しよう!」に取り組み、資料から近代(第6章)の様子について予想を立てる。 【1時間】 ※教師用指導書に収録されている「ワークシート」を活用することも考えられる。

第6章 近代の日本と世界

(配当17時間, うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動2時間)

1節 明治維新と立憲国家への歩み(配当7時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
64	①万機公論に決すべし (p.156~157) ・戊辰戦争 ・新政府の発	○新政府軍が国内を統一していった過程について理解する。 ○新政府が戊辰戦争の最中に五箇条の御誓文を發布したことに気づき, その意図や形式, 内容について理解する。	
65	②人民に上下の別なき (p.158~159) ・廃藩置県 ・四民平等 ・残された差別	○版籍奉還・廃藩置県・四民平等の改革についてとらえ, 新政府はどのような国家を目標としたのかを考える。 ○四民平等の改革の後, 残された社会的差別からの解放を目標と動きがあったことに気づく。	
66	③学問は身を立てるの財本 (p.160~161) ・富国強兵 ・小学校の誕生 ・軍隊の組織 ・租税を金納に	○学制・兵制・税制の改革についてとらえ, 政府が富国強兵の政策による近代国家の建設を目標としたことを理解する。 ○学制・徴兵令・地租改正に反対する動きが起こった理由について, 人々の負担や生活に及ぼした影響から考える。	
67	④ザン切り頭をたたいてみれば (p.162~163) ・殖産興業 ・文明開化	○殖産興業の政策による産業・交通・通信の近代化や, 生活・町並みの洋風化の様子を, 江戸時代と比べて理解する。 ○政府により北海道の開拓が推進された一方で, 先住民族であるアイヌの人たちの生活の場が奪われ, アイヌ民族に対する差別が続いたことに気づく。	
68	⑤智識を世界に求めて (p.164~165) ・岩倉使節団の派遣 ・中国・朝鮮との外交 ・領土の画定と沖縄県	○政府が岩倉使節団を派遣した目的や成果について理解するとともに, 朝鮮に対しては, 武力を背景に日本に有利な条約を結んで開国させたことに気づく。 ○政府は, 清との国交を開き, ロシアとの国境を画定させるとともに, 琉球に対して日本への編入を断行していったことを理解する。	
69	⑥民撰議院を開設せよ (p.166~167) ・自由民権運動の始まり ・士族の反乱 ・国会開設への動き ・政党の誕生	○民主主義の思想の広まりを背景に, 国会開設を目標とする自由民権運動が全国に広まり, 様々な憲法案や政党がつくられたことを理解する。 ○自由民権運動が衰えていった理由について, 政府による取り締まりや民権派による激化事件などとの関わりから考える。	
70	⑦憲法の条規により之を行う (p.168~169) ・内閣制度の確立 ・大日本帝国憲法の発布 ・民法と「家」の制度 ・帝国議会の開設	○大日本帝国憲法の制定過程と内容の特色について理解し, 日本が天皇を元首とする, 当時アジアで唯一の立憲国家となったことに気づく。 ○憲法のもとで始められた政治の特色を, 議会や選挙, 「家」の制度などからとらえ, 現在の政治のしくみとの共通点や違いについて考える。	
—	◆人物から歴史を探ろう 山川(大山)捨松と津田梅子 (p.170) ◆地域から歴史を探ろう アイヌの文化を伝えた人たち (p.171)	○山川捨松と津田梅子に関心を広げ, 彼女らの活躍と, 女性の社会的な地位の向上に与えた影響について理解を深める。 ○政府の同化政策によるアイヌの人たちの暮らしの変化に気づき, アイヌ民族の文化が伝承されたことの意義について考えを深める。	

2節 激動する東アジアと日清・日露戦争(配当5時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
71	<p>⑧対等な条約を求めて (p.172～173)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列強の植民地拡大 ・アジアに迫る列強 ・条約改正の歩み 	<p>○19世紀の後半に、列強諸国が帝国主義の動きを強め、アジアに勢力を広げながら東アジアにも迫り始めたことを理解する。</p> <p>○条約改正の歩みをとらえるとともに、イギリスとの条約改正に成功した理由について、日本の近代化や東アジア情勢との関わりから考える。</p>	
72	<p>⑨朝鮮をめぐる戦い (p.174～175)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争 ・下関条約と三国干渉 ・政党政治の基礎 	<p>○朝鮮をめぐる勢力争いが清との対立を生み、日清戦争を引き起こす要因となったことに気づく。</p> <p>○日清戦争と三国干渉をきっかけに、国内では、ロシアや中国・朝鮮に対する意識の変化がみられたことや、政党政治の基礎が築かれたことを理解する。</p>	
73	<p>⑩「眠れる獅子」に迫る列強 (p.176～177)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分割される中国 ・義和団事件 ・日英同盟の成立 	<p>○日清戦争後、欧米列強が清を分割・侵略していったことや、それに抵抗する中国民衆の動きが起こったことを理解する。</p> <p>○日本とイギリスが日英同盟を結んだそれぞれのねらいについて、ロシアの動きや東アジアの情勢との関わりから考える。</p>	
74	<p>⑪列強との戦い (p.178～179)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争の始まり ・戦争と国民生活 ・戦争の講和と影響 	<p>○韓国や満州をめぐるロシアとの勢力争いから、日露戦争が起こったことを理解するとともに、開戦論が強まるなかで非戦論が唱えられた理由について考える。</p> <p>○戦争の推移や講和についてとらえ、戦争が国民生活に多大な犠牲を強いた一方で、その勝利がアジア諸国などに大きな影響を与えたことを理解する。</p>	
75	<p>⑫変わりゆく東アジア (p.180～181)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国併合 ・日本の植民地政策 ・関東州と満鉄 ・中華民国の成立 	<p>○日露戦争後、日本が韓国を併合し、同化政策などの植民地支配を進めたことにより、朝鮮の人々の主権が奪われていったことに気づく。</p> <p>○日本は、満鉄などを通じて満州にも勢力を広げていったことや、中国では、三民主義を唱えた孫文らによって辛亥革命が起こり、中華民国が成立したことを理解する。</p>	
—	<ul style="list-style-type: none"> ◆世界から歴史を探ろう 海外へ移住した日本人 (p.182) ◆資料から歴史を探ろう 人口からみた日本の歴史 (p.183) 	<p>○明治時代に多くの日本人が海外へ移住したことに関心をもち、その背景や現地での暮らしの様子について、ハワイやブラジルの歴史とともに理解を深める。</p> <p>○日本の人口の移り変わりに関心をもち、日本の歴史の流れとの関わりについて考える。</p>	

3節 近代の産業と文化の発展(配当3時間)

累計 時間	主な学習内容	学習目標	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動
76	<p>⑬近代産業を支えた糸と鉄 (p.184～185)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製糸業と紡績業の発展 ・重工業の発達 ・鉄道や海運の広がり 	<p>○日本では、19世紀の末に製糸・紡績などの軽工業を中心に産業革命が進み、資本主義が確立したことや、20世紀に入って重工業も発達したことを理解する。</p> <p>○工業化や交通機関の発達は、都市や農村の生活に大きな変化をもたらし、人々の生活範囲も広がったことに気づく。</p>	
77	<p>⑭工業化のかけで (p.186～187)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村と都市の変化 ・厳しい労働条件 ・社会運動の始まり ・足尾鉍毒事件 	<p>○急速な工業化の一方で、厳しい労働条件の改善を求める労働運動や、社会主義運動が起こり、政府は治安警察法によりこれらを取り締まったことを理解する。</p> <p>○足尾鉍毒事件の原因や被害の様子、田中正造らの運動、政府の対策などをとらえ、深刻な公害問題となった理由について考える。</p>	
78	<p>⑮西洋文化と伝統文化 (p.188～189)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の普及 ・新しい近代文化の誕生 	<p>○教育制度の整備により就学率が高まり、高等教育や女子教育も盛んになった一方で、国定教科書などを通じて教育の国家統制が強まっていったことに気づく。</p> <p>○明治時代には、西洋文化の影響を受けた新しい近代文化が形成され、世界で最先端の研究や発見も生まれたことを理解する。</p>	
79 80	<p>★学習のまとめと表現 (p.190～193)</p>	<p>○近代の時代の移り変わりを振り返り、どのような時代であったかを言葉や作品に表現して、時代の特色をとらえる。</p> <p>○近代から「大戦期」へ時代がどのように変化していったのか、戦争の戦い方の違いに着目して関心をもつ。</p>	<p>●p.190～191では第6章の学習を振り返り、近代の時代の移り変わりや、歴史的な事象が起こった地域の確認、政治や社会の動きについての整理に取り組む。</p> <p>●p.192～193では「近代の時代の特色を考えよう!」に取り組み、時代の特色を考察して自分の言葉で表現し、まとめる。また、「時代の変化に注目しよう!」に取り組み、資料から「大戦期」(第7章)の様子について予想を立てる。</p> <p>【1時間】</p> <p>※教師用指導書に収録されている「ワークシート」を活用することも考えられる。</p>